

ブラジル株式ファンド

追加型投信／海外／株式



●本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みいただき、ご自身でご判断ください。

●ファンドに関する金融商品取引法第15条第3項に規定する目論見書(以下「請求目論見書」といいます。)は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードできます。また、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。

●本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載しています。

●ファンドの基準価額、販売会社などについては、以下の委託会社の照会先にお問い合わせください。

<委託会社> [ファンドの運用の指図を行なう者]

日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

ホームページ アドレス <http://www.nikkoam.com/>

コールセンター 電話番号 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除きます。)

<受託会社> [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

株式会社りそな銀行(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

設定・運用は

日興アセットマネジメント

- ファンドの内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に投資者(受益者)の意向を確認いたします。
- ファンドの財産は、信託法(平成18年法律第108号)に基づき受託会社において分別管理されています。
- この目論見書により行なう「ブラジル株式ファンド」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2011年8月15日に関東財務局長に提出しており、2011年8月16日にその効力が発生しております。

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	株式	その他資産 (投資信託証券 (株式一般))	年2回	中南米	ファミリー ファンド	なし

商品分類および属性区分の定義については、社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご参照ください。

<委託会社の情報>

委託会社名	日興アセットマネジメント株式会社
設立年月日	1959年12月1日
資本金	173億6,304万円
運用する投資信託財産の 合計純資産総額	6兆7,032億円 (2011年12月末現在)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

ブラジルの株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 特色 1** 長期的な経済成長が期待できるブラジルの株式を
 主な投資対象とします。
 - ▶ 投資対象には、現地上場株式のほか、他通貨建てで発行されている上場株式および当該株式を裏づけ資産としたDR(預託証券)も含まれます。
 - ▶ 原則として、為替ヘッジは行ないません。
- 特色 2** サンパウロ証券取引所の上場銘柄で構成される
 ボベスパ指数(円換算ベース^{*})を上回る投資成果をめざします。

※公表指数をもとに、日興アセットマネジメントが円換算します。
- 特色 3** 株式への投資ならびにポートフォリオの構築にあたっては、
 現地有数の運用会社であるイタウ・アセットマネジメントから助言を受けます。
 - ▶ イタウ・アセットマネジメントからの助言のもと、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクが「ブラジル株式アクティブ・マザーファンド」の運用を行ないます。

イタウ・アセットマネジメントについて

イタウ・アセットマネジメントは、ブラジルの大手金融機関であるイタウ・ユニバンコ銀行グループの運用部門です。同社は、ブラジル株式投資において豊富な経験と実績のある運用会社です

ブラジルの大手金融機関

<イタウ・ユニバンコ銀行グループの世界ネットワーク>

イタウ・ユニバンコ銀行は、国内に4,000近くの支店を持つブラジルの大手銀行です。同行を中心とするイタウ・ユニバンコ銀行グループは、ブラジルの金融機関の中でも有数の世界ネットワークを誇っています。






豊富な陣容でブラジル株式をカバー

イタウ・アセットマネジメント

- 設 立 : 1995年
- 社 員 数 : 約270名
- 運用資産 : 約1,844億米ドル (約15兆円^{*})

イタウ・アセットマネジメントは、71名の投資プロフェッショナル(ポートフォリオ・マネージャーとアナリストをさします)を有する現地運用会社です。なかでもブラジル株式運用チームは、総勢29名を擁しています。豊富な人材と現地での幅広いネットワークを活かし、現地運用会社ならではの綿密な調査・運用を行なっています。

*1米ドル=81.5円で換算(2011年5月末現在) ※運用資産は2011年5月末時点のデータです。 (2011年6月末現在)

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。



- 主な投資制限
 - ・ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
 - ・ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- 分配方針
 - ・ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。
 - ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ブラジルって、どんな国?



資源・食糧・工業大国 ブラジル連邦共和国

面積	約851万km ² (日本の22.5倍)
人口	約1.9億人(2010年)
首都	ブラジリア
通貨	レアル(1レアル=41.2円、2011年12月末現在)
為替制度	変動相場制
言語	ポルトガル語
主な産業	製造業、鉱業(鉄鉱石ほか) 農牧業(砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆ほか)
主要証券取引所	サンパウロ証券取引所
日本との時差	12時間(ブラジリア、サンパウロなど) (サマータイム実施期間中は11時間)

出所:外務省、JETRO、IMF



流域面積世界一、長さでは世界第2位のアマゾン川



近代的な建物が立ち並ぶ首都ブラジリア



ブラジル最大の人口を有するサンパウロ

ブラジルの食べ物

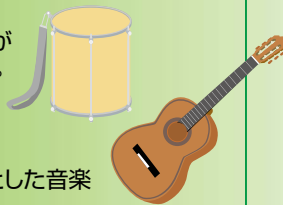


- フェイジョアータ**
黒豆・肉などを煮込んだ料理
- シュラスコ**
鉄串に牛肉、豚肉、鶏肉などを刺して、炭火でじっくり焼いた肉料理
- ポンデケージョ**
もちもちした丸いチーズパン

ブラジルの音楽

- サンバ**
アフリカ音楽とブラジルの伝統音楽が融合して生まれたラテン音楽の一つ。リオのカーニバルが有名

- ボサノヴァ**
サンバから派生した、クラシックギターとボーカルを中心とした音楽



ブラジルのスポーツ



- サッカー**
サッカー王国としても知られており、ワールドカップでは、過去19大会全てに出場している唯一の国。2014年のワールドカップ開催国

●F1(カーレース) ●バレーボール ●柔道 など

日本とブラジルの交流は長い

ブラジルへの移住開始から約100年

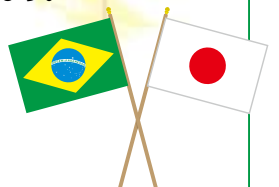
日本からブラジルへの移住は、1908年に神戸港を出港した笠戸丸がはじまりでした。2008年は、移住開始から100年を記念して、「日伯(にっぽく)交流年」と定められました。

ブラジルは、日本以外で最大の日系人社会

ブラジル国内に居住する日系ブラジル人は数多く、日本以外で最大規模の日系人社会となっています。

日本で3番目に多いブラジル人

在留ブラジル人の数は、中国、韓国に次ぎ3番目の多さとなっています。





カーニバルのほか、
観光地や貿易港としても
有名なリオ・デ・ジャネイロ



世界有数の生産高を誇る
コーヒー豆の積出港サントス



産業面での3つの強み

広大な国土や膨大な人口に加え、
以下のような恵まれた条件も備えたブラジルは、
輸出と内需の好バランスを背景に、
安定成長が期待されます。

1. 天然資源



鉄鉱石を中心に豊富な天然資源を有しており、
中国やインドといった新興国からの需要の拡大
や資源高の恩恵を享受。
近年では、大規模な海底油田も発見されており、
今後は原油供給についても注目される。

鉄鉱石の産出量で世界第2位

【鉄鉱石の産出量(含有量)上位5ヵ国】(2008年)

1	中国	24%
2	ブラジル	21%
3	オーストラリア	19%
4	インド	13%
5	ロシア	5%

2. 農業力



広大で肥沃な国土に恵まれ、多くの農畜産物を
生産。
世界的な環境意識の高まりを背景に注目が
集まるバイオエタノールについては、世界有数
の生産国。

多くの農畜産物の生産量が世界上位に

【生産量が上位の農畜産物】(2008年)

■ さとうきび	: 世界第1位
■ コーヒー豆	: 世界第1位
■ オレンジ類	: 世界第1位
■ 大豆	: 世界第2位
■ 牛肉	: 世界第2位
■ とうもろこし	: 世界第3位

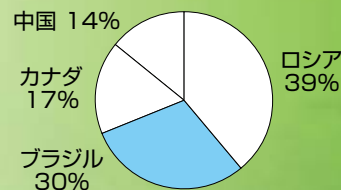
3. 工業力



工業製品は輸出額の約半分を占め、中南米の
製造拠点としての役割を担う。
先進国の主要製造業が多く進出。国内技術では
小型ジェット機が有名。

小型ジェット機受注数は世界第2位

【小型ジェット機の確定受注機数の状況】(2010年)



出所:信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

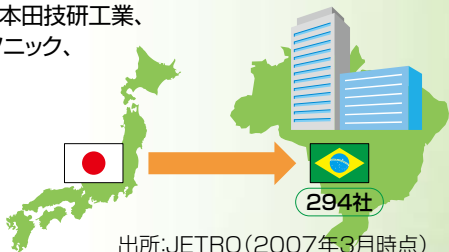
日本企業も多く進出しています

ブラジルには、約300の日本企業が進出

日本企業とブラジルとの関係も古く、1955年には日本
からブラジルへの企業進出が拡大し、1967年には大手
日本企業がブラジルへの投資を開始しています。

<主な進出企業>

トヨタ自動車、本田技研工業、
ソニー、パナソニック、
村田製作所、
新日本製鉄、
三井物産ほか



※イラストおよび写真はイメージです。
※個別企業に言及していますが、当該企業の株式に
ついて売買を推奨するものではありません。
※グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果
などを約束するものではありません。

ブラジル経済の2大原動力

原動力①：偏りのない輸出

ブラジルは、資源・食糧・工業大国であることに加え、輸出先・輸出品目ともにバランスがとれている点が特長となっています。

ブラジル3つの強み

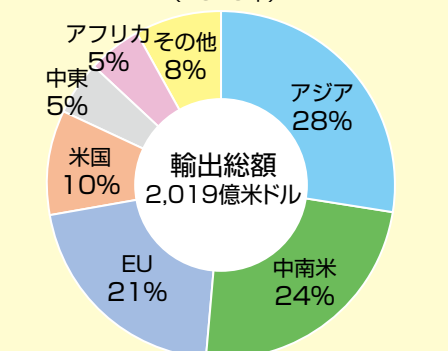
1. 天然資源

2. 農業力

3. 工業力

バランスのとれている輸出先

【輸出相手国構成(米ドルベース)】
(2010年)

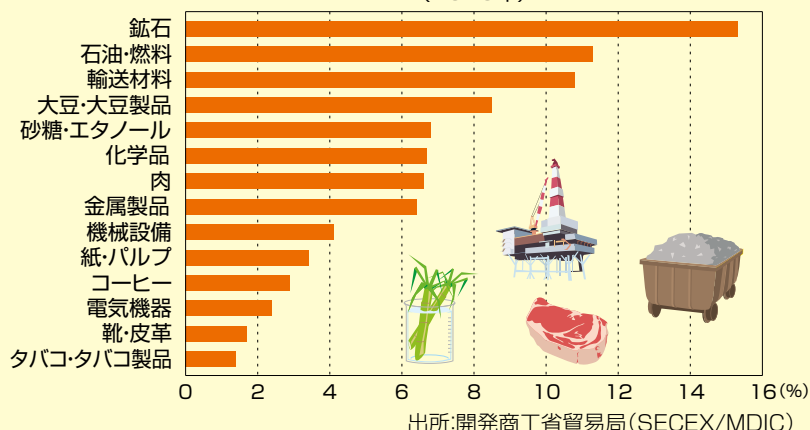


※上記グラフの数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

出所:ブラジル中央銀行

偏りなく、多岐にわたる輸出品目

【主な輸出品目の構成比率(米ドルベース)】
(2010年)



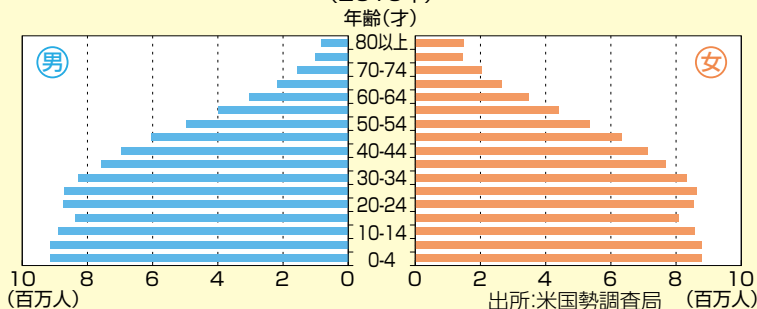
原動力②：内需

ブラジルの人口構成をみると働き盛りの層が厚いことがわかります。また、個人消費がGDPの約60%を占めており、成長のけん引役となっています。

さらに、サッカーワールドカップ(2014年)や夏季オリンピック(2016年)の開催を控え、インフラ投資にも力が注がれています。

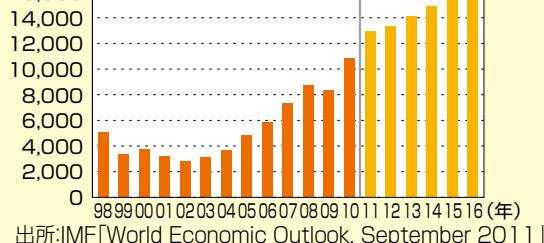
働き盛りの層が厚いブラジル

【ブラジルの人口構成】
(2010年)



国民の豊かさの向上に伴う 個人消費の拡大

【1人当たりGDP(米ドルベース)の推移】
(1998年~2016年予想)

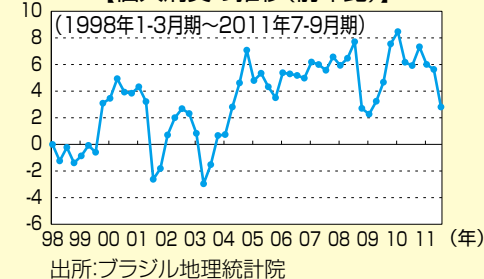


ブラジルでは個人消費がGDPの約60%を占める

【ブラジルの需要項目別GDP構成比】
(2010年)



【個人消費の推移(前年比)】
(1998年1-3月期~2011年7-9月期)



※上記グラフ、データは過去のものまたは予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

大きく様変わりした「今のブラジル」

ブラジルは、1990年以降、本格的な経済改革を実施し、大きな変貌を遂げてきました。対外債権が対外債務を上回ったことなどが評価され、2008年から2009年にかけて、ブラジルの外貨建長期債の信用格付は、主要格付会社によって、相次いで投資適格級に引き上げられました。

1990年以降の主な
ブラジル政府の政策対応

経済改革

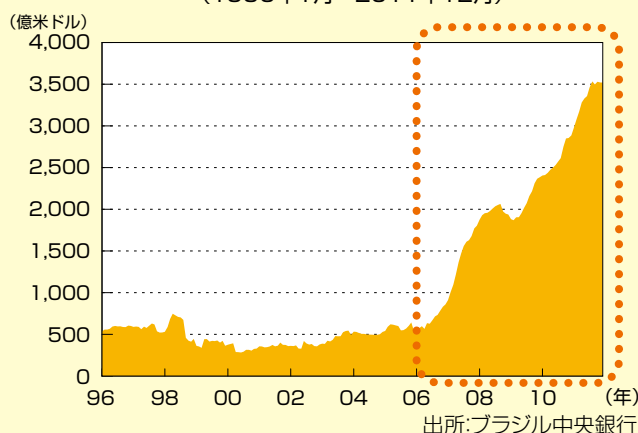
貿易・資本の自由化、民営化、
金融改革、地域経済統合など

インフレ
抑制策

インフレターゲット
政策の浸透など

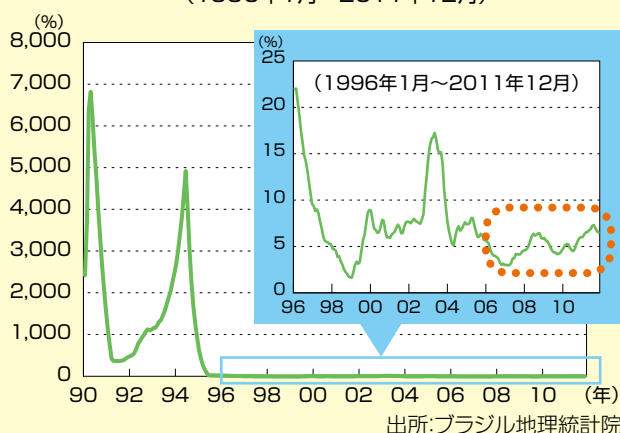
外貨準備高は大きく増加

【外貨準備高の推移】
(1996年1月～2011年12月)



過去に比べ安定した物価推移

【消費者物価指数(IPCA、前年比)の推移】
(1990年1月～2011年12月)



ブラジルの株式市場と通貨レアルの動向

ブラジル経済の中長期的な成長期待などが同国の株式市場やレアルの上昇を支えています。

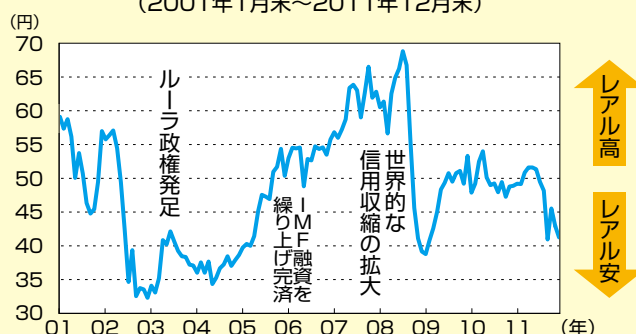
ブラジル株式市場の動向

【ボブスバ指数の推移】
(2001年1月末～2011年12月末)



ブラジルレアルの動向

【為替レート(対円)の推移】
(2001年1月末～2011年12月末)



【ブラジル株式市場の概要】

主要証券取引所	サンパウロ証券取引所
時価総額	約94兆円
上場企業数	373
代表的な指数	ボブスバ指数 (構成銘柄数: 68銘柄) サンパウロ証券取引所上場銘柄のうち、取引量が多い銘柄の株価をもとに計算されています。配当による収益も指数の計算に反映されています。

出所:信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

(2011年12月末現在)

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

投資リスク

当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。基準価額変動リスクの大きいファンドですので、お申込みの際は、当ファンドのリスクを十分に認識・検討し、慎重に投資のご判断を行なっていただく必要があります。

基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

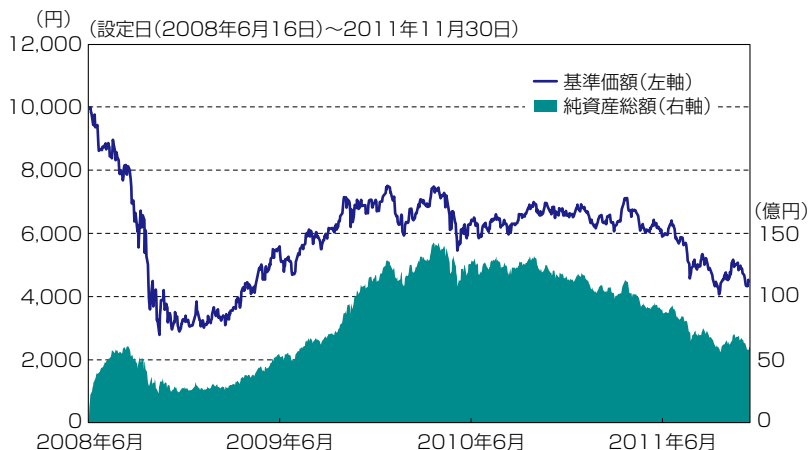
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

リスクの管理体制

- リスク・パフォーマンスの評価・分析とリスク管理および法令などの遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当しています。
- 上記部門はリスク管理/コンプライアンス関連の委員会へ報告/提案を行なうと共に、必要に応じて運用部門に改善案策定の指示などを行ない、適切な運用体制を維持できるように努めています。

※上記体制は2011年12月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

基準価額・純資産の推移



基準価額.....4,485円
純資産総額.....59.77億円

※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

2009年11月	2010年5月	2010年11月	2011年5月	2011年11月	設定来累計
0円	0円	0円	0円	0円	0円

主要な資産の状況

<資産構成比率>

組入資産	比率
株式	97.1%
うち先物	0.0%
現金その他	2.9%

※当ファンドの実質組入比率です。

<株式組入上位5業種>

業種	比率
1 素材	25.1%
2 エネルギー	22.0%
3 銀行	14.2%
4 耐久消費財・アパレル	8.6%
5 食品・飲料・タバコ	6.9%

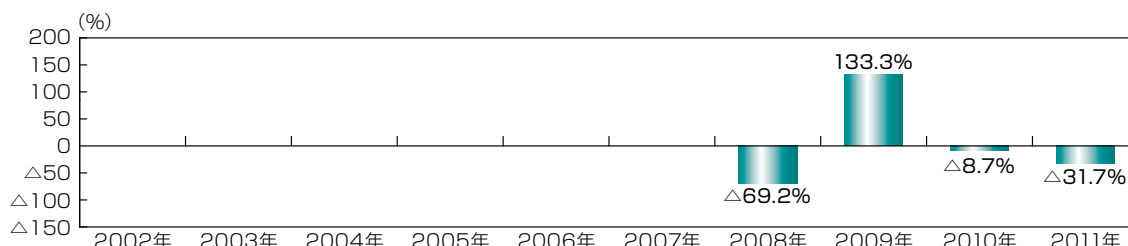
※マザーファンドの対組入株式時価総額比です。

<株式組入上位10銘柄> (銘柄数:56銘柄)

銘柄	通貨	業種	比率
1 OGX PETROLEO E GAS PARTICIPA	ブラジルリアル	エネルギー	8.69%
2 PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	ブラジルリアル	エネルギー	7.23%
3 VALE SA	ブラジルリアル	素材	6.31%
4 VALE SA-PREF A	ブラジルリアル	素材	6.02%
5 BANCO BRADESCO SA-PREF	ブラジルリアル	銀行	4.17%
6 ITAU UNIBANCO HOLDING SA	ブラジルリアル	銀行	3.75%
7 BANCO DO BRASIL S.A.	ブラジルリアル	銀行	3.61%
8 METALURGICA GERDAU SA-PREF	ブラジルリアル	素材	3.32%
9 USINAS SIDER MINAS GER-PF A	ブラジルリアル	素材	3.26%
10 PDG REALTY SA	ブラジルリアル	耐久消費財・アパレル	3.26%

※マザーファンドの対純資産総額比です。

年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドにはベンチマークはありません。

※2008年は、設定時から2008年末までの騰落率です。

※2011年は、2011年11月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金単位	1口単位 ※販売会社によって異なる場合があります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。
購入の申込期間	2011年8月16日から2012年8月15日までとします。 ※上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・サンパウロ証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
換金制限	ファンドの規模および商品性格などにに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少など、その他やむを得ない事情があるときは、購入および換金の申込みの受付を中止すること、および既に受け付けた購入および換金の申込みの受付を取り消すことができます。
信託期間	2018年5月15日まで（2008年6月16日設定）
繰上償還	次のいずれかの場合等には、繰上償還することがあります。 ・ファンドの純資産総額が10億円を下回ることとなった場合 ・繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年5月15日、11月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回、分配方針に基づいて分配を行ないます。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
信託金の限度額	1兆円
公告	電子公告により行ない、委託会社のホームページに掲載します。 ホームページ アドレス http://www.nikkoam.com/ ※なお、やむを得ない事由により公告を電子公告によって行なうことができない場合には、公告は日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎期決算後および償還後に運用報告書は作成され、知れている受益者に対して交付されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ・配当控除の適用はありません。 ・益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.15%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.89%(税抜1.8%) 運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p> <p style="text-align: center;">＜運用管理費用の配分＞</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">運用管理費用(年率)</th> </tr> <tr> <th>合計</th> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.890% (1.80%)</td> <td>0.903% (0.86%)</td> <td>0.903% (0.86%)</td> <td>0.084% (0.08%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※括弧内は税抜です。 ※マザーファンドの投資顧問会社が受ける報酬は、上記委託会社が受ける運用管理費用の中から支払います。</p>	運用管理費用(年率)				合計	委託会社	販売会社	受託会社	1.890% (1.80%)	0.903% (0.86%)	0.903% (0.86%)	0.084% (0.08%)
運用管理費用(年率)													
合計	委託会社	販売会社	受託会社										
1.890% (1.80%)	0.903% (0.86%)	0.903% (0.86%)	0.084% (0.08%)										
その他の費用・手数料	<p>ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.1%以内 目論見書の作成および交付に係る費用、運用報告書の作成および交付に係る費用、監査費用などは委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。</p> <p>組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.525(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。</p>												

投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して10%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して10%

※上記は、2011年8月15日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

nikko am